

「生涯学習に関する世論調査」の概要

平成 30 年 8 月
内閣府政府広報室

- 調査対象 全国 18 歳以上の日本国籍を有する者 3,000 人
有効回収数 1,710 人 (回収率 57.0%)
- 調査期間 平成 30 年 6 月 28 日 ～ 7 月 8 日 (調査員による個別面接聴取)
- 調査目的 生涯学習に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 調査項目
- 1 生涯学習の状況などについて
 - 2 大学などにおける社会人の学習に関する考え方について
 - 3 地域や社会での活動に対する考え方について
- 調査実績 「生涯教育に関する世論調査」昭和 54 年 2 月 (5,000 人、15 歳以上)
「生涯学習に関する世論調査」
昭和 63 年 9 月 (5,000 人、20 歳以上)、平成 4 年 2 月 (3,000 人、20 歳以上)、
11 年 12 月 (5,000 人、20 歳以上)、17 年 5 月 (5,000 人、15 歳以上)、
20 年 5 月 (3,000 人、20 歳以上)、24 年 7 月 (3,000 人、20 歳以上)
「教育・生涯学習に関する世論調査」平成 27 年 12 月 (3,000 人、20 歳以上)

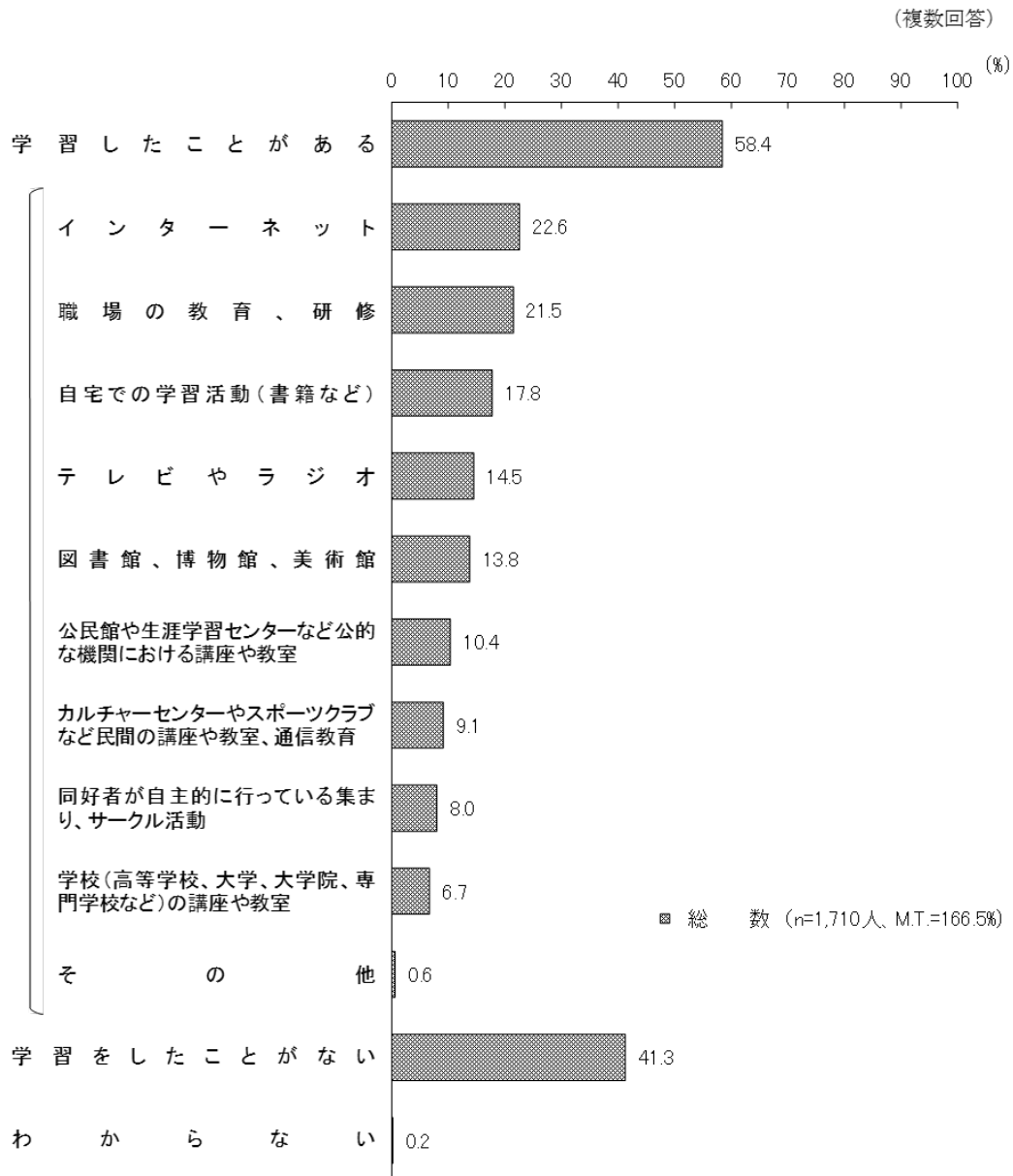
(平成 18 年度の調査から、調査対象者に調査主体が「内閣府」であることを提示した上で実施。)

1 生涯学習の状況などについて
 (1) この1年間の学習の形式

問1 あなたは、この1年間くらいの中に、どのような場所や形態で学習をしたことがありますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位5項目)
 平成30年7月

・学習したことがある(小計)	58.4%
・インターネット	22.6%
・職場の教育、研修	21.5%
・自宅での学習活動(書籍など)	17.8%
・テレビやラジオ	14.5%
・図書館、博物館、美術館	13.8%
・学習をしたことがない	41.3%



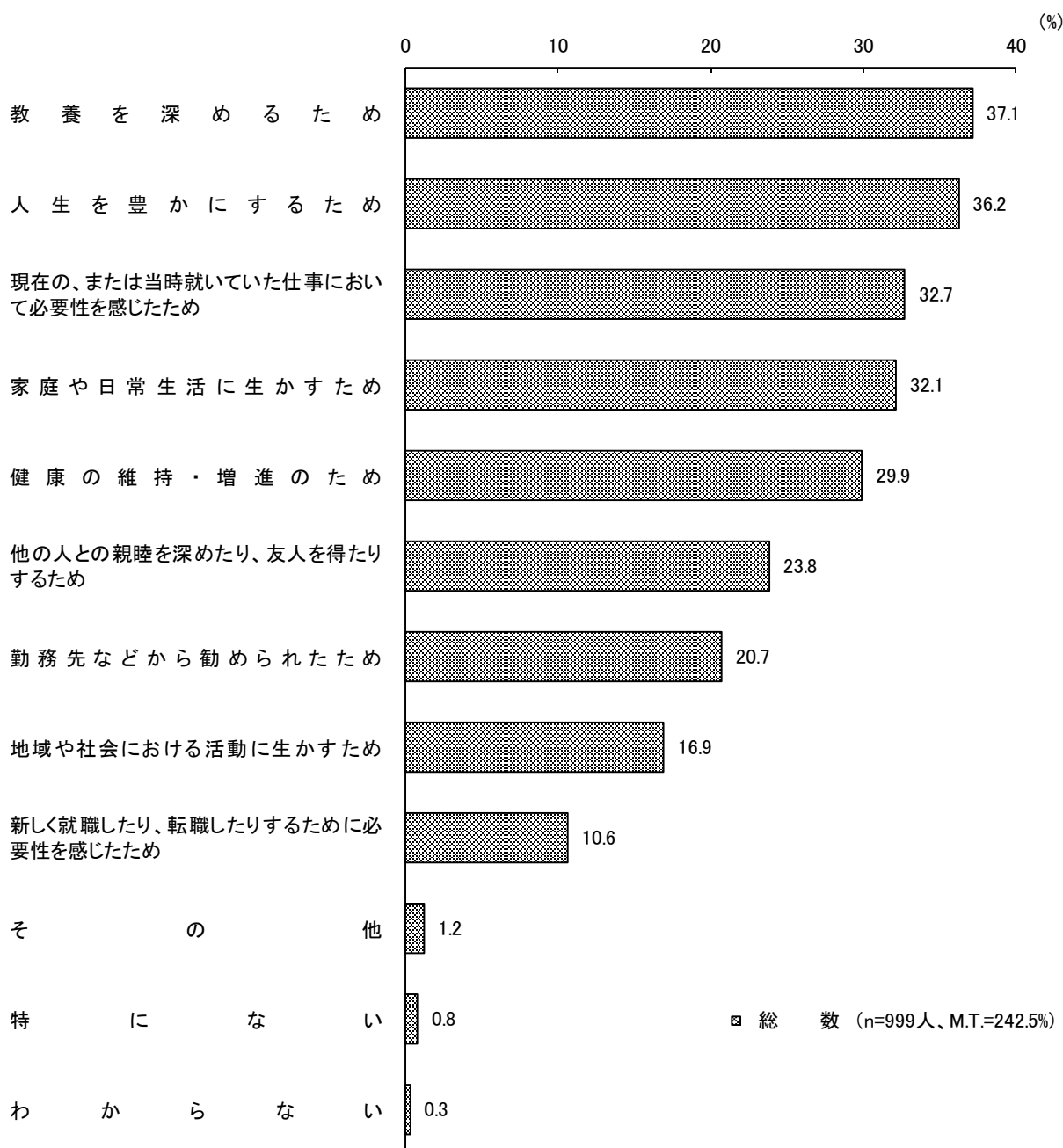
ア 学習をした理由

更問1 (問1で「学習したことがある(小計)」と答えた方(999人)に)
学習した理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位5項目)
平成30年7月

・教養を深めるため	37.1%
・人生を豊かにするため	36.2%
・現在の、または当時就いていた仕事において必要性を感じたため	32.7%
・家庭や日常生活に生かすため	32.1%
・健康の維持・増進のため	29.9%

(この1年間くらいの間に「学習したことがある(小計)」とする者に、複数回答)



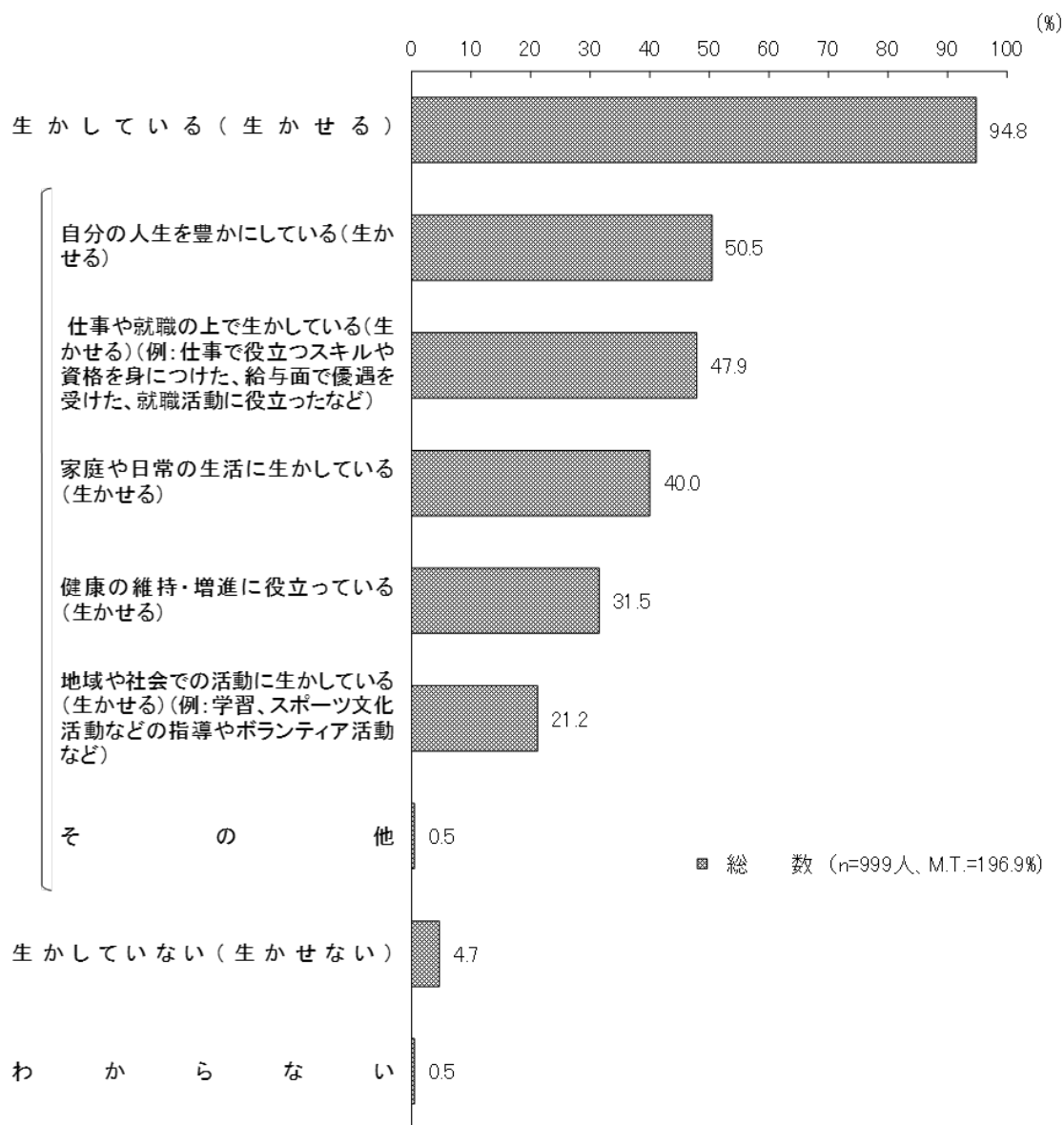
イ 学習成果の活用状況

更問2 (問1で「学習したことがある(小計)」と答えた方(999人)に)
 学習した成果をどのように生かしていますか。あるいは生かせると思いますか。
 この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)
 平成30年7月

・生かしている(生かせる)(小計)	<u>94.8%</u>
・自分の人生を豊かにしている(生かせる)	50.5%
・仕事や就職の上で生かしている(生かせる)	47.9%
・家庭や日常の生活に生かしている(生かせる)	40.0%
・健康の維持・増進に役立っている(生かせる)	31.5%
・生かしていない(生かせない)	<u>4.7%</u>

(この1年間くらいの間に「学習したことがある(小計)」とする者に、複数回答)



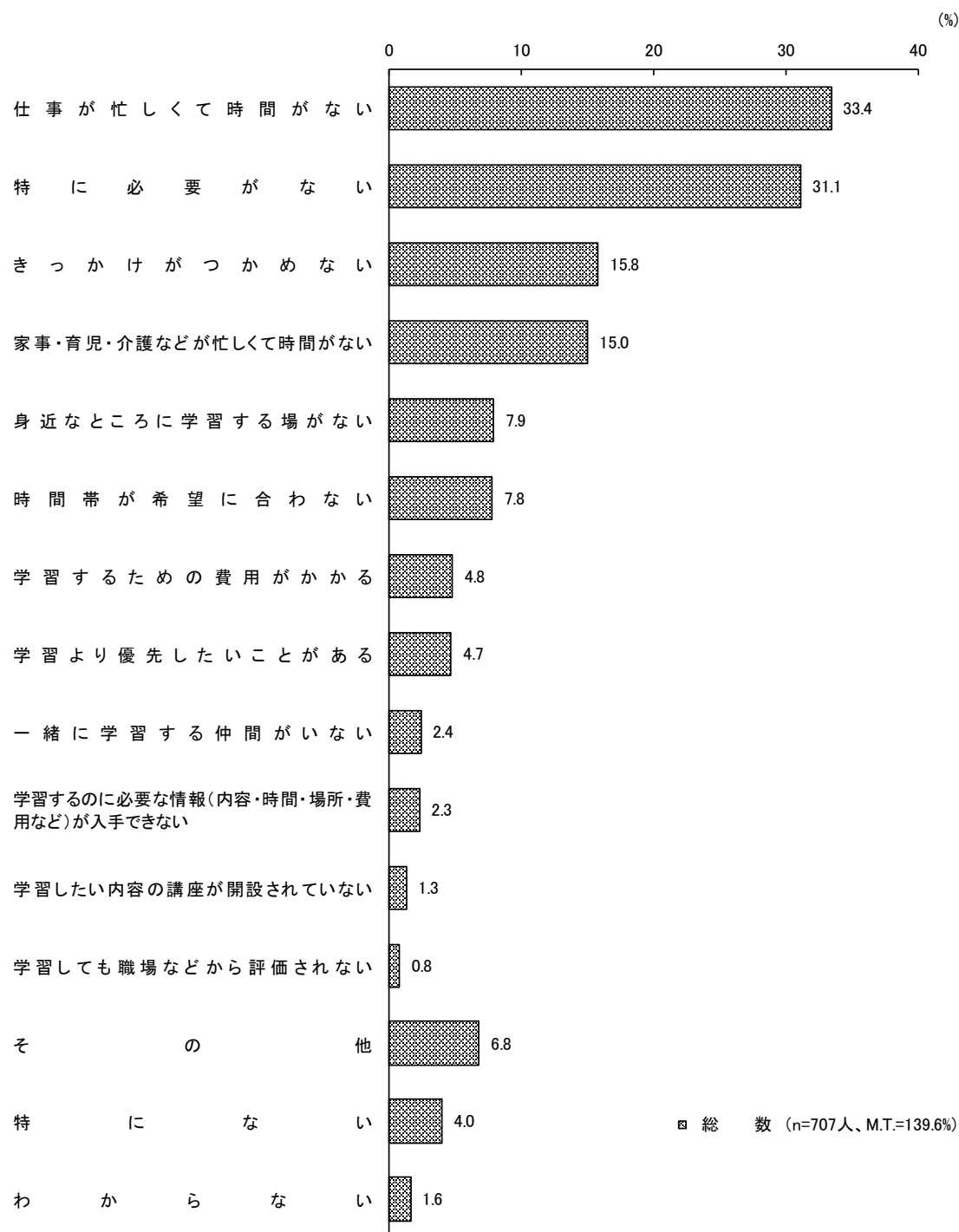
ウ 学習をしない理由

更問3 (問1で「学習をしたことがない」と答えた方(707人)に)
 学習したことがない理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位2項目)
 平成30年7月
 33.4%
 31.1%

- ・仕事が忙しくて時間がない
- ・特に必要がない

(この1年間くらいの間に「学習をしたことがない」と答えた者に、複数回答)

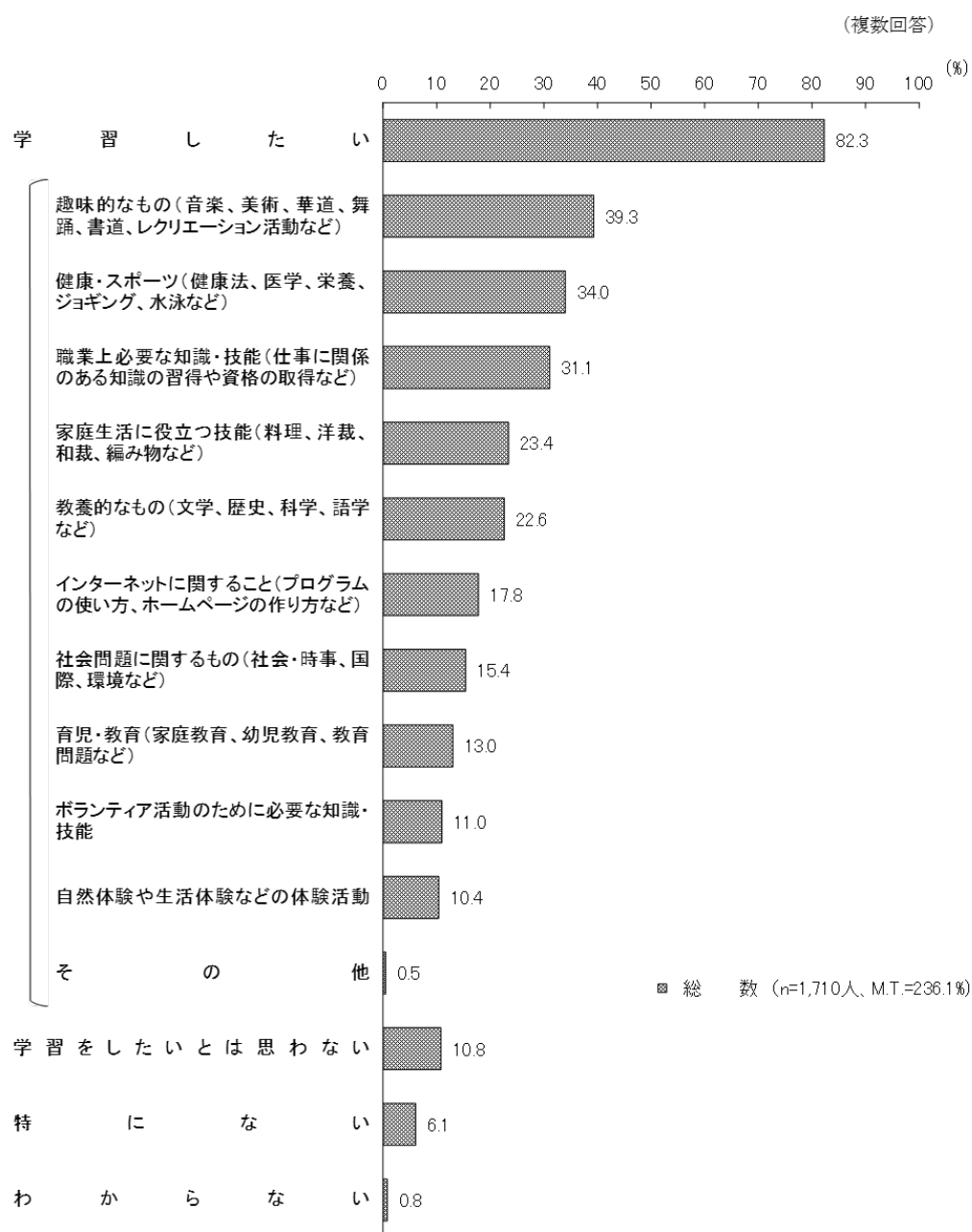


(2) 今後学習したい内容

問2 これから学習するとすればどのようなことを学習したいですか。
この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位5項目)
平成30年7月

・学習したい(小計)	<u>82.3%</u>
・趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など)	39.3%
・健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)	34.0%
・職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)	31.1%
・家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、和裁、編み物など)	23.4%
・教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)	22.6%
・学習をしたいとは思わない	<u>10.8%</u>



(3) 今後の情報収集の方法

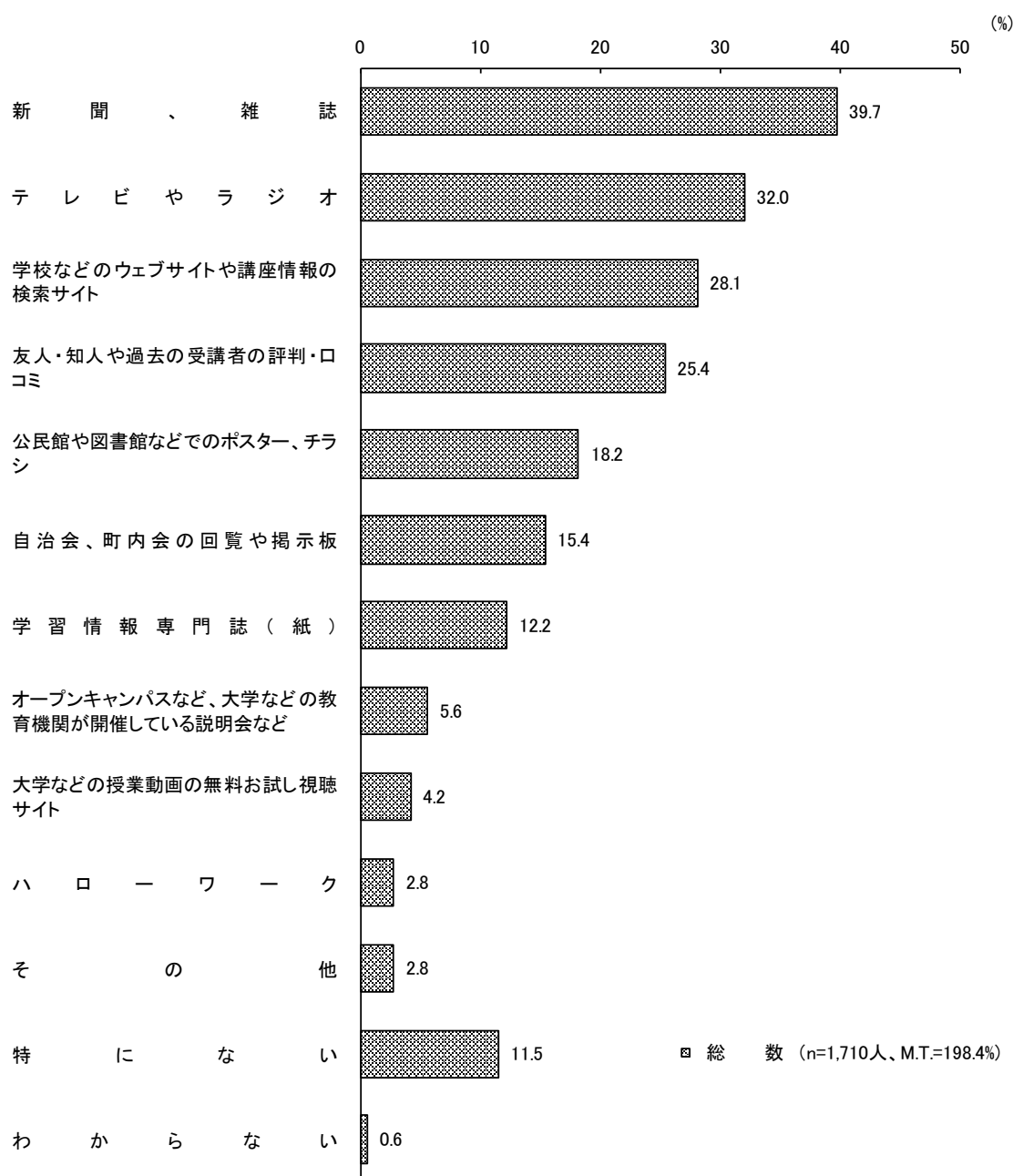
問3 これから学習するとすれば、どこから情報収集を行いますか。
この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)
平成30年7月

- ・新聞、雑誌 39.7%
- ・テレビやラジオ 32.0%
- ・学校などのウェブサイトや講座情報の検索サイト 28.1%
- ・友人・知人や過去の受講者の評判・口コミ 25.4%

- ・特にない 11.5%

(複数回答)



2 大学などにおける社会人の学習に関する考え方について

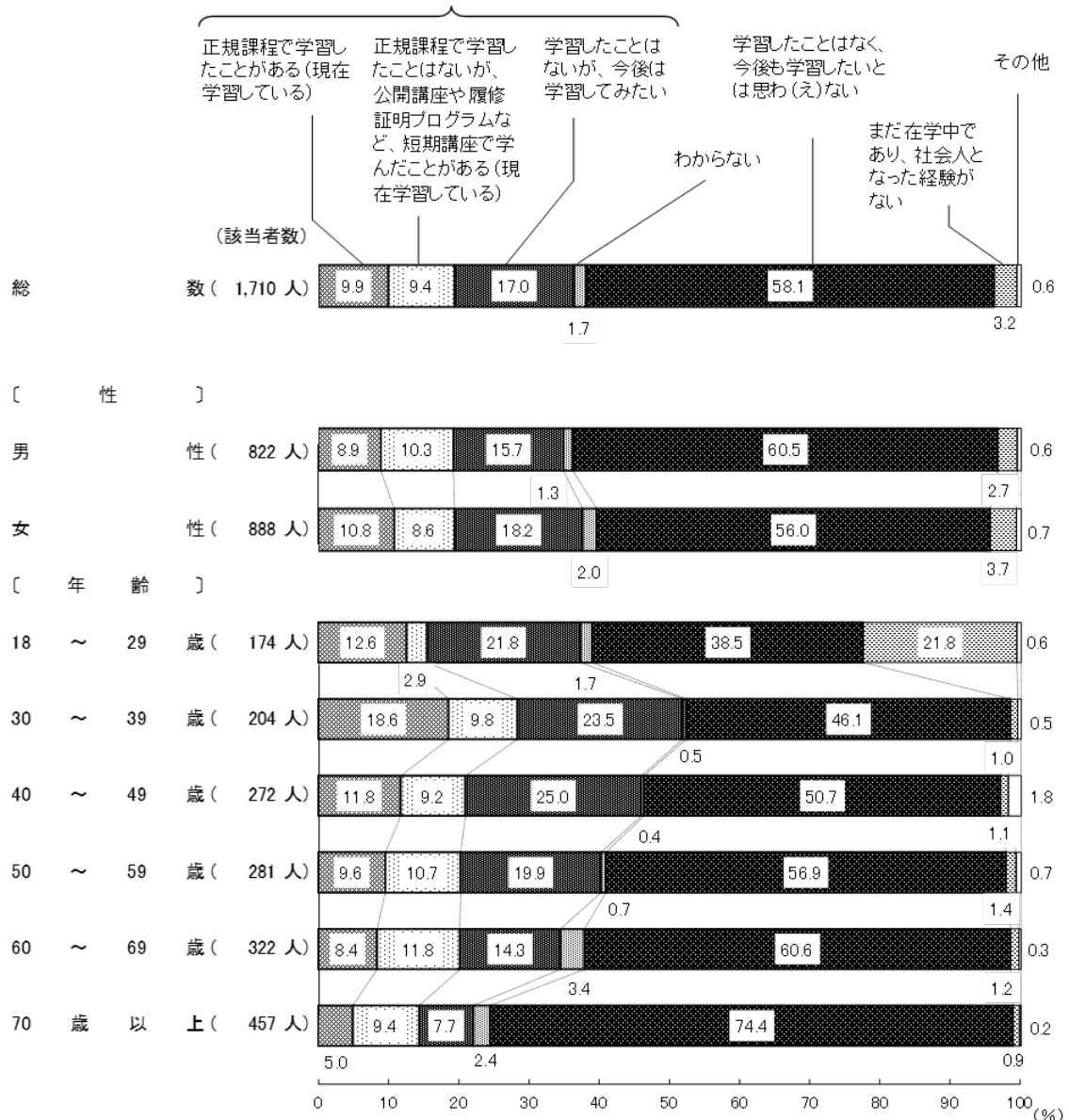
(1) 大学などにおける学習歴

問4 あなたは、学校を出て一度社会人となった後に、大学、大学院、短大、専門学校などの学校において学習したことがありますか。この中から1つだけお答えください。なお、社会人には主婦(夫)や無職の方も含まれます。また、正規の課程に限らず短期プログラムや公開講座など、学習の形態は問いません。

平成30年7月

・学習したことがある(現在学習している)、学習してみたい(小計)	36.3%
・正規課程で学習したことがある(現在学習している)	9.9%
・正規課程で学習したことはないが、公開講座や履修証明プログラムなど、短期講座で学んだことがある(現在学習している)	9.4%
・学習したことはないが、今後は学習してみたい	17.0%
・学習したことはなく、今後も学習したいとは思わ(え)ない	58.1%
・まだ在学中であり、社会人となった経験がない	3.2%

学習したことがある(現在学習している)、学習してみたい(小計) 36.3

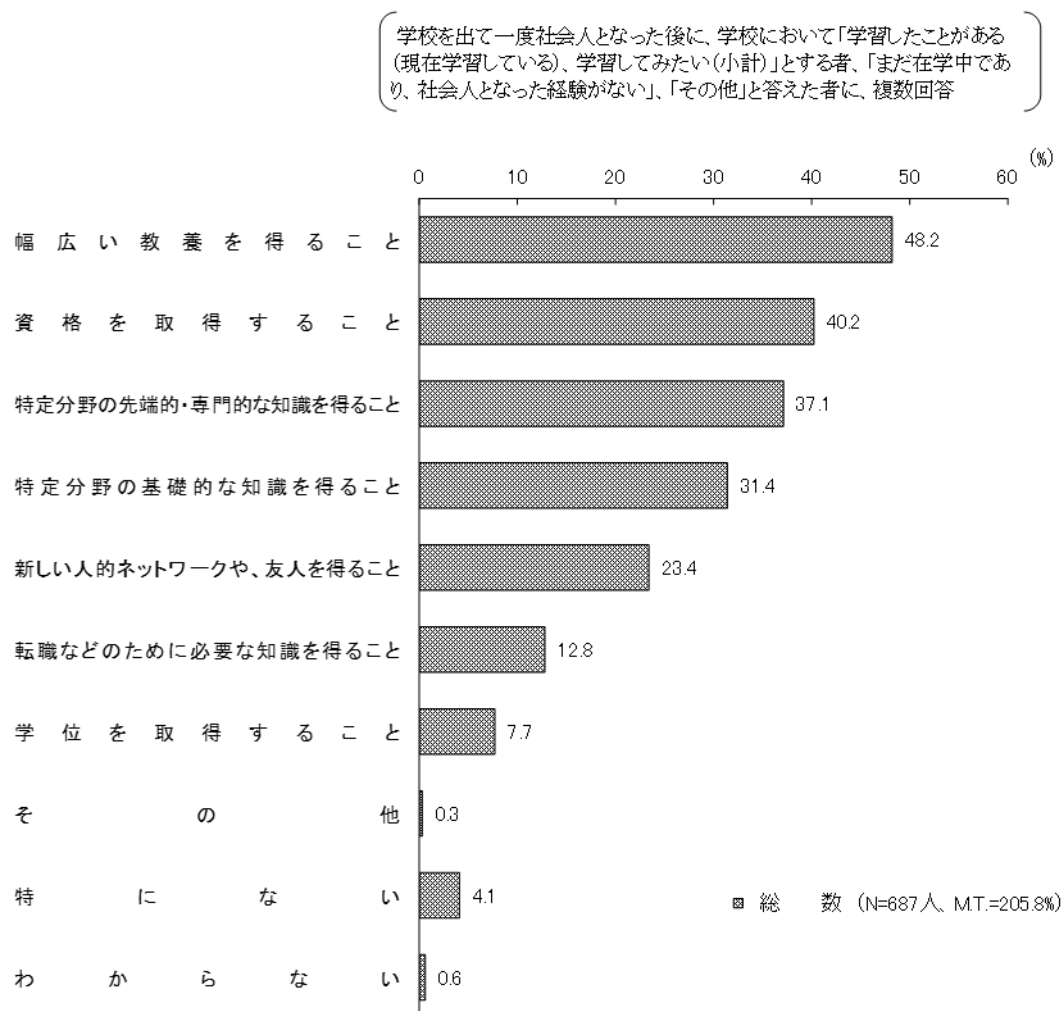


ア 大学などでの学習に期待する成果

更問1 (問4で「学習したことがある(現在学習している)、学習してみたい(小計)」、「まだ在学中であり、社会人となった経験がない」、「その他」と答えた方(687人)に)
 これから社会人として大学などで学ぶとすれば、どのような成果を期待しますか。
 この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)
 平成30年7月

- ・幅広い教養を得ること 48.2%
- ・資格を取得すること 40.2%
- ・特定分野の先端的・専門的な知識を得ること 37.1%
- ・特定分野の基礎的な知識を得ること 31.4%



イ 適当な学習量

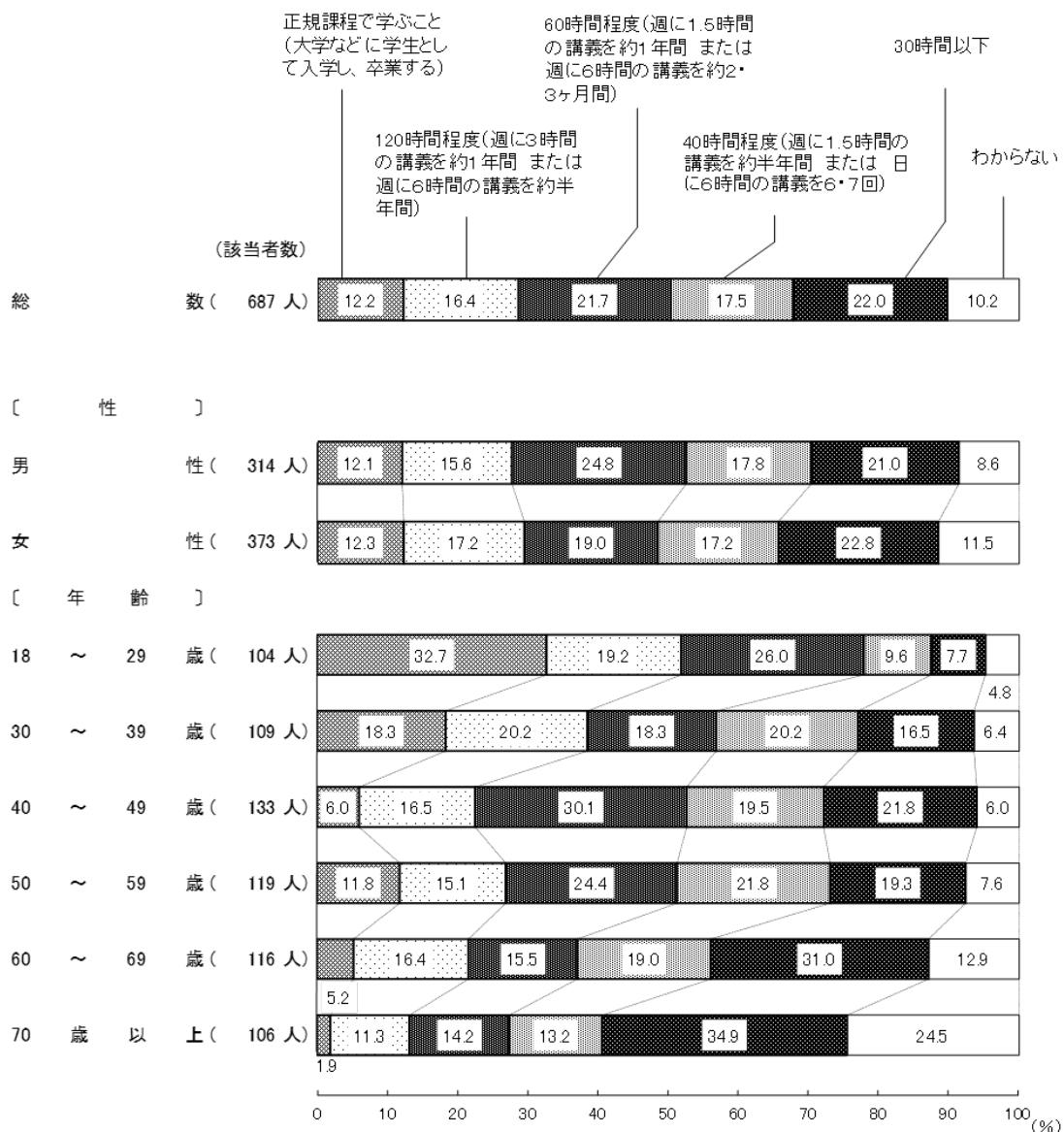
更問2 (問4で「学習したことがある(現在学習している)、学習してみたい(小計)」、「まだ在学中であり、社会人となった経験がない」、「その他」と答えた方(687人)に)

これから社会人として大学などで学ぶとすれば、どの程度の期間や頻度が適当だと思いますか。この中から1つだけお答えください。

平成30年7月

- ・ 正規課程で学ぶこと(大学などに学生として入学し、卒業する) 12.2%
- ・ 120時間程度(週に3時間の講義を約1年間 又は 週に6時間の講義を約半年間) 16.4%
- ・ 60時間程度(週に1.5時間の講義を約1年間 又は 週に6時間の講義を約2・3ヶ月間) 21.7%
- ・ 40時間程度(週に1.5時間の講義を約半年間 又は 日に6時間の講義を6・7回) 17.5%
- ・ 30時間以下 22.0%
- ・ わからない 10.2%

学校を出て一度社会人となった後に、学校において「学習したことがある(現在学習している)、学習してみたい(小計)」とする者、「まだ在学中であり、社会人となった経験がない」、「その他」と答えた者に



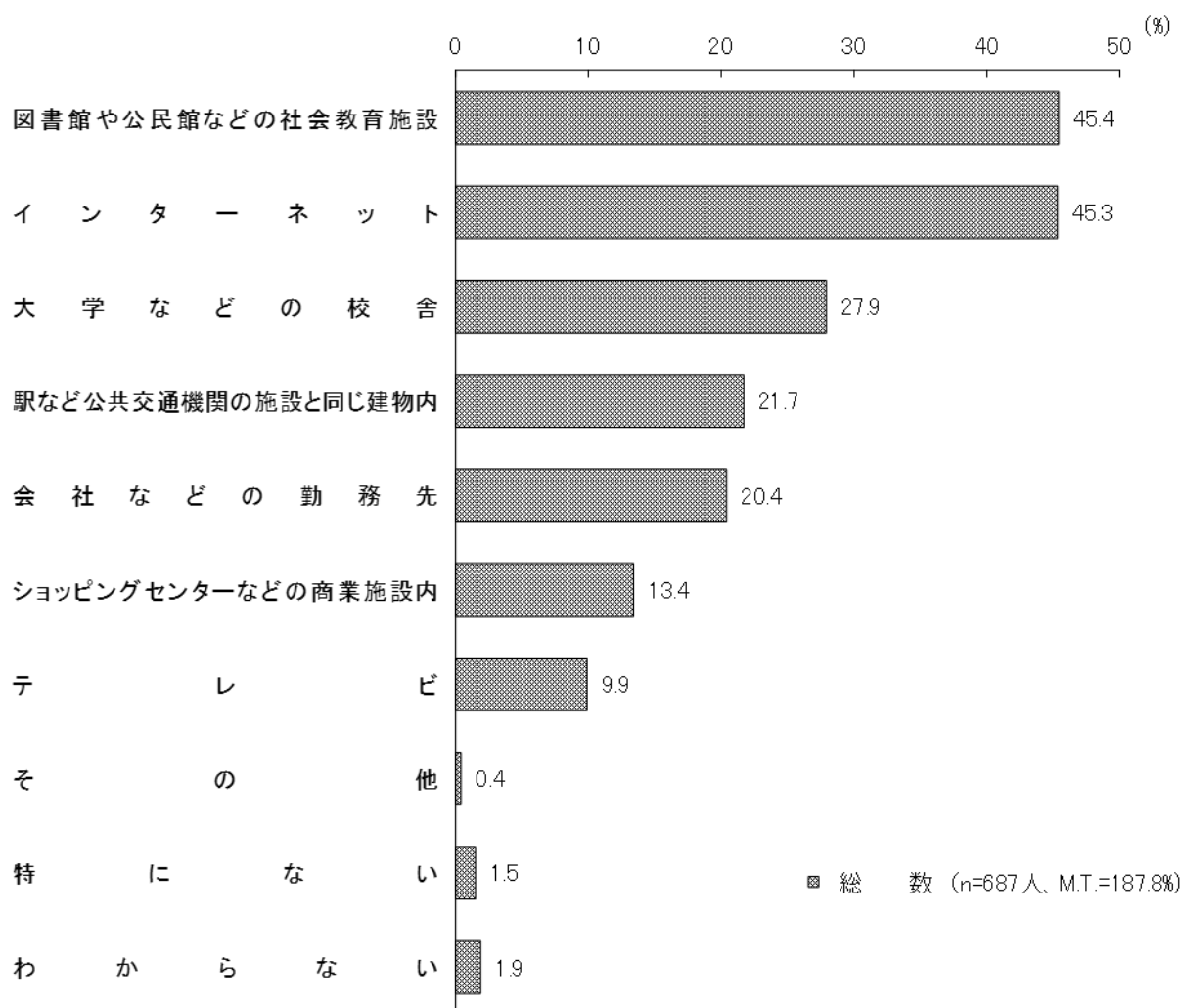
ウ 講座の提供場所

更問3 (問4で「学習したことがある(現在学習している)、学習してみたい(小計)」、「まだ在学中であり、社会人となった経験がない」、「その他」と答えた方(687人)に)
 これから社会人として大学などで学ぶとすれば、どこで講座が開講されると学習しやすいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位5項目)
 平成30年7月

・図書館や公民館などの社会教育施設	45.4%
・インターネット	45.3%
・大学などの校舎	27.9%
・駅など公共交通機関の施設と同じ建物内	21.7%
・会社などの勤務先	20.4%

学校を出て一度社会人となった後に、学校において「学習したことがある(現在学習している)、学習してみたい(小計)」とする者、「まだ在学中であり、社会人となった経験がない」、「その他」と答えた者に、複数回答



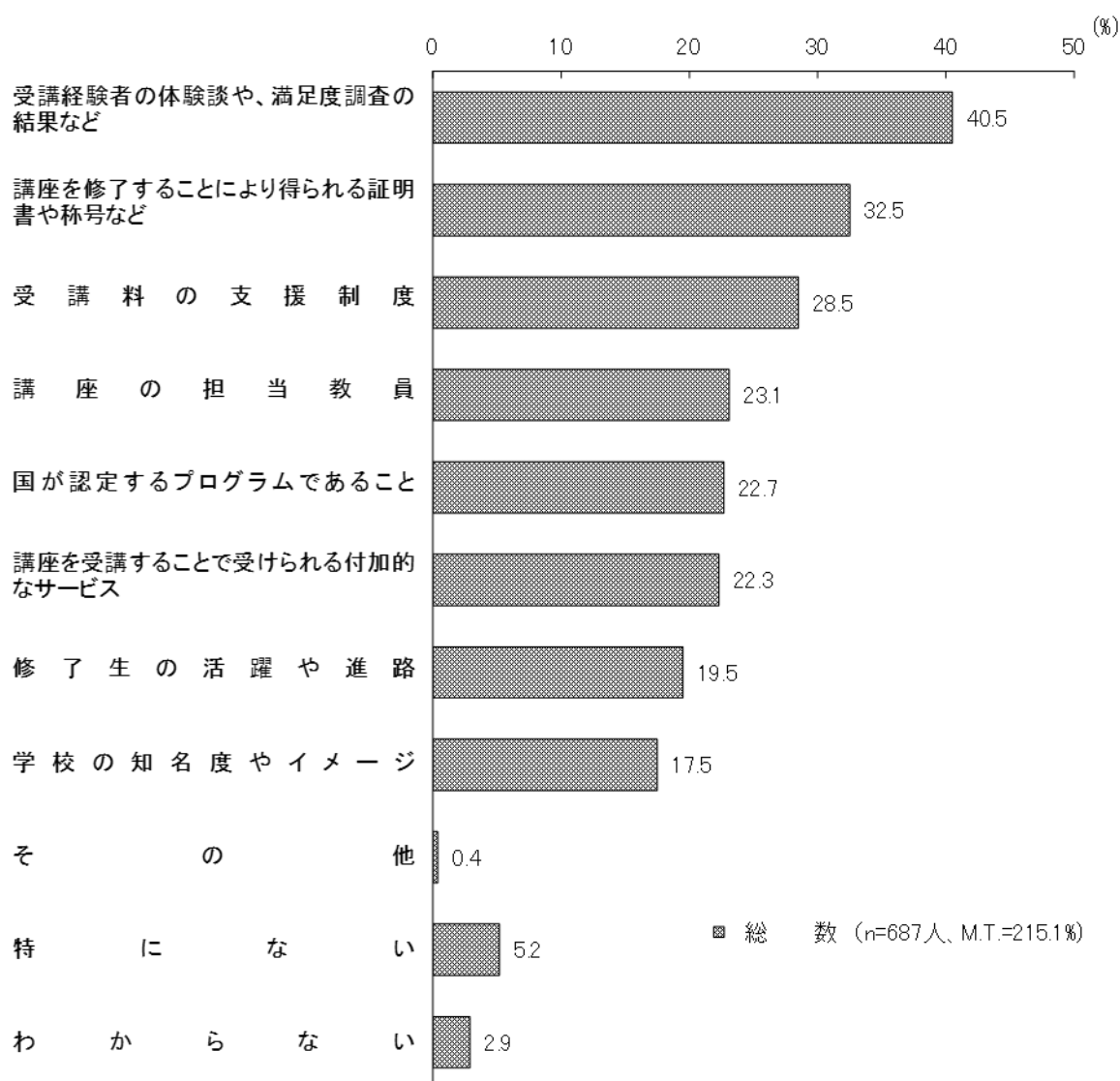
エ 重視する情報

更問4 (問4で「学習したことがある(現在学習している)、学習してみたい(小計)」、「まだ在学中であり、社会人となった経験がない」、「その他」と答えた方(687人)に)
 これから学ぼうとする大学などの情報収集を行う際、どのような情報を重視しますか。
 この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位3項目)
 平成30年7月

- ・ 受講経験者の体験談や、満足度調査の結果など 40.5%
- ・ 講座を修了することにより得られる証明書や称号など 32.5%
- ・ 受講料の支援制度 28.5%

（学校を出て一度社会人となった後に、学校において「学習したことがある(現在学習している)、学習してみたい(小計)」とする者、「まだ在学中であり、社会人となった経験がない」、「その他」と答えた者に、複数回答



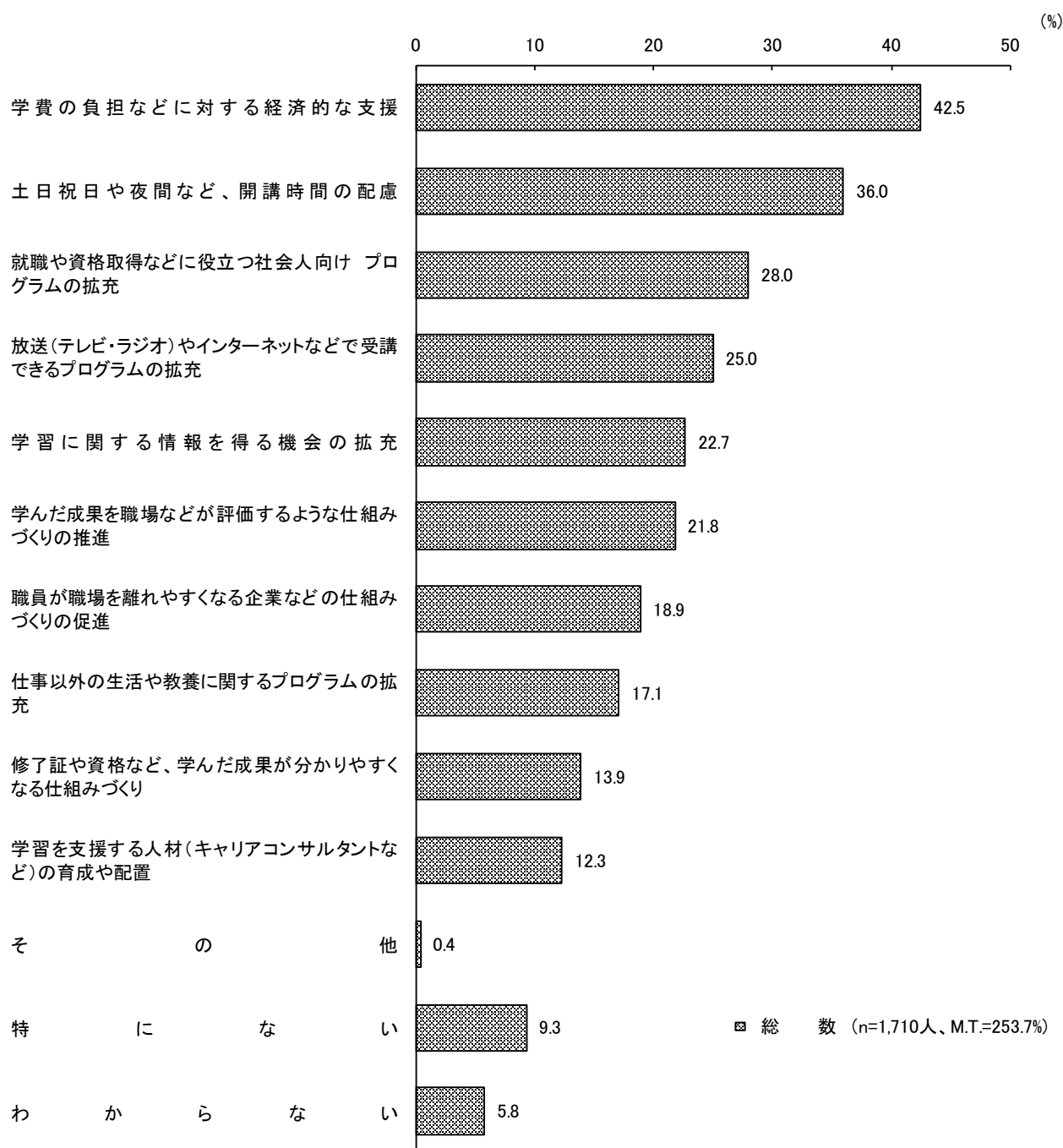
(2) 大学などでの学習の推進方法

問5 社会人が大学などで学習しやすくするためには、どのような取組が必要だと思いますか。
この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位2項目)
平成30年7月
42.5%
36.0%

- ・学費の負担などに対する経済的な支援
- ・土日祝日や夜間など、開講時間の配慮

(複数回答)



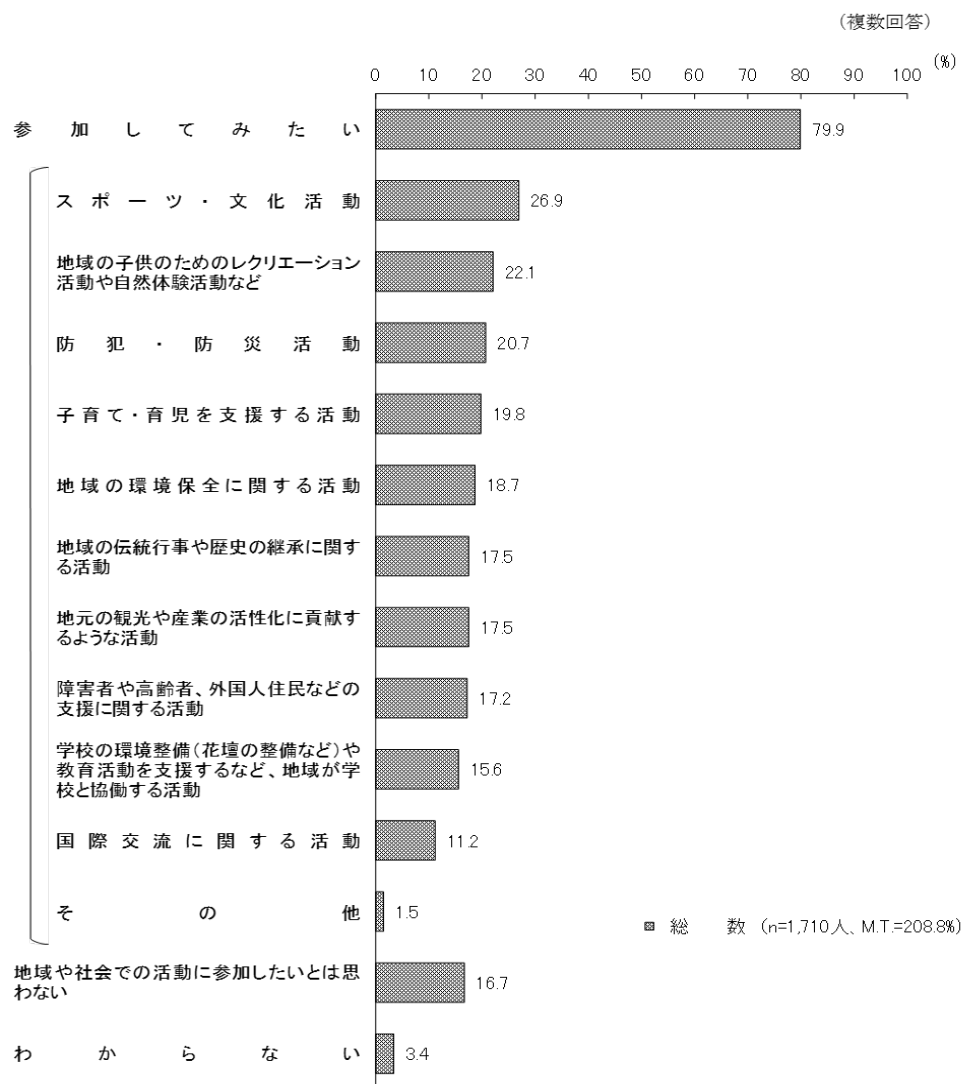
3 地域や社会での活動に対する考え方について

(1) 地域社会での活動への参加意欲

問6 あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか。
この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位9項目)
平成30年7月

・参加してみたい(小計)	79.9%
・スポーツ・文化活動	26.9%
・地域の子供のためのレクリエーション活動や自然体験活動など	22.1%
・防犯・防災活動	20.7%
・子育て・育児を支援する活動	19.8%
・地域の環境保全に関する活動	18.7%
・地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動	17.5%
・地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動	17.5%
・障害者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動	17.2%
・学校の環境整備(花壇の整備など)や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動	15.6%
・地域や社会での活動に参加したいとは思わない	16.7%



(2) 地域社会での活動への参加を促す方策

問7 多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位2項目)

平成30年7月

- ・地域や社会での活動に関する情報提供 42.3%
- ・地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り 41.8%

(複数回答)

